

I 法人の概要

(1) 理念

学校法人四徳学園は、「徳風洽四海」（徳風四海にあまねく）の精神を基本として豊かな人間性と医療に関する高い知識・技術を備えた人材を養成することを理念とする。

長野保健医療大学は、「四徳」を学び、他者に共感し、自己研鑽に励むことにより、人を慈しむ心である「仁心」を醸成・涵養し、保健・医療・福祉の専門職として必要かつ十分な知識と技能を修得することにより、「妙術」を目指し生涯にわたり修練と研鑽を重ねる基礎を身に着けた人材の育成を教育理念とする。

「徳風四海に洽く」

学生が会得する知識や技能を、すべからく人類愛に基づき世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献する

「仁心妙術」

人を慈しむ豊かな人間性と医療に関する高い知識と技能を備える

(2) 学校法人の沿革

平成 11(1999)年 6 月	長野医療技術専門学校の設立発起人会開催
平成 12(2000)年 4 月	学校設立準備室を開設
平成 13(2001)年 1 月	学校法人四徳学園設立認可 長野医療技術専門学校設置認可
平成 13(2001)年 4 月	長野医療技術専門学校開校
平成 17(2005)年 9 月	長野医療技術専門学校附属リハビリテーションクリニック 開院
平成 17(2005)年 12 月	大学院入学資格認定 高度専門士の称号付与認定
平成 26(2014)年 10 月	長野保健医療大学設置認可
平成 27(2015)年 4 月	長野保健医療大学開学 保健科学部リハビリテーション学科開設
平成 29(2017)年 4 月	長野市立川中島保育園運営受託
平成 30(2018)年 3 月	長野医療技術専門学校閉校

平成 31(2019)年 4 月	長野保健医療大学に看護学部看護学科を開設
平成 31(2019)年 4 月	川中島保育園施設移管（私立保育所として運営開始）
令和 2(2020)年 10 月	長野保健医療大学附属リハビリテーションクリニックを長野保健医療大学 附属整形外科リハビリクリニックに名称変更
令和 3(2021)年 4 月	長野保健医療大学に大学院保健学研究科を開設
令和 4(2022)年 9 月	校歌制定
令和 5(2023)年 3 月	川中島保育園閉園
令和 5(2023)年 4 月	幼保連携型認定こども園川中島こども園開園

(3) 設置する学校・学部・学科等

【長野保健医療大学】

大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）

保健科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻

看護学部看護学科

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（各年度 5 月 1 日現在）

	年度	入学定員	入学者数	入定 充足率	収容定員	現員	収定 充足率
保健科学部	R1	80	90	1.12	320	341	1.06
	R2	80	81	1.01	320	340	1.06
	R3	80	99	1.23	320	356	1.11
	R4	80	93	1.16	320	358	1.11
看護学部	R1	80	85	1.06	80	85	1.06
	R2	80	82	1.02	160	166	1.03
	R3	80	94	1.17	240	259	1.07
	R4	80	73	0.91	320	331	1.03
大学院	R3	8	5	0.62	8	5	0.62
	R4	8	3	0.37	16	7	0.43
学部 計	R4	160	166	—	640	689	—
大学 総計	R4	168	169	—	656	696	—

平均入学定員充足率

保健科学部	1.13	看護学部	1.04
-------	------	------	------

(5) 役員の概要（令和 5 年 3 月 31 日現在）

理事 定数 5 人以上 8 人以内 現員 8 人

監事 定数 2 人 現員 2 人

区分	氏名	就任年月
理事長	北澤 俊美	平成 24 年 3 月
副理事長	北澤 竜二	平成 24 年 3 月
理事	笠原 甲一	平成 13 年 2 月
理事	高澤 通泰	令和 3 年 4 月
理事	田中 英弥	平成 31 年 1 月
理事	岩谷 力	平成 27 年 4 月
理事	金物 壽久	令和 2 年 10 月
理事	青柳 郁生	令和 3 年 4 月
監事	北澤 英男	平成 13 年 2 月
監事	内田 雄治	令和 3 年 4 月

(6) 評議員の概要（令和 5 年 3 月 31 日現在）

定数 11 人以上 18 人以内 現員 18 人

(7) 教職員の概要（令和4年5月1日現在）

大学		性別		年齢構成					
	人数計	男	女	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	学長	1	1						1
	副学長	4	3	1				1	3
	教授	15	10	5		1	3	8	3
	准教授	8	1	7	1	1	4	2	
	講師	7	1	6		2	5		
	助教	15	6	9	4	2	5	4	
	助手	2	1	1		1	1		
	計	52	23	29	0	5	7	18	7
兼任教員		115							

基準 大学全体10人、保健科学部14人、看護学部12人 計36人
（教授の基準 18人）

専任教員一人当たりの学生数（保健科学部） 14.9 人

専任教員一人当たりの学生数（看護学部） 13.8 人

大学院		性別		年齢構成				
	人数計	男	女	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	研究科長	1	1					1
	研究指導教員	11	4	7	1	3	4	3
	研究指導補助教員	1		1			1	
	計	13	5	8	0	3	5	4
	科目担当教員	4						
兼任教員		14						

基準 12人
（研究指導教員の基準 6人）

大学全体の職員数 26 人

II 事業の概要

(1) 中期計画に掲げる事業の概要

1 教育体制の整備

- ・大学院及び看護学部設置計画履行状況調査において、大学設置分科会（R4.5.1 現在の調査）からは大学院において定年を超えた教員の割合が高いことに対する改善意見 1 点が付され、学校法人分科会（R4.7.1 現在の調査）からは「指摘事項なし」の結果となった。これにより大学開学以来 8 年に亘って実施された文部科学省の履行状況調査は終了となる。
- ・保健科学部では昨年度末の退職者 1 名の欠員があったが、5 月の時点で新任教員を確保し、教員数を維持することにより、学生が不利益を被ることなく、教育の質も保たれたと考える。
- ・教員の教育力の向上を目的に「良い教育を目指して」をテーマに計 3 回の研修会を実施し、出席率は 3 回平均 63%となった。今後に向けてはさらに新たな視点を持って教員及び職員の能力開発のための研修会を計画する。また、学生による授業評価アンケートについては、教員に対する e-ラーニングの実施や、授業中にアンケートの回答時間を設けるなどの取り組みが奏功し、教員・学生双方の授業評価への関心が高まったことで、回答率が上昇した。
- ・長野県理学療法士会及び長野県作業療法士会との協力体制により臨床実習指導者講習会を開催した結果、理学療法学専攻では、実習施設における講習会修了者在籍率が 80%となり、作業療法学専攻では次年度に実習を依頼する全ての施設に講習会修了者が在籍しており、実習実施のための指導者数は充足されている状態となった。
- ・名誉教授称号授与制度を制定し 1 名に授与。
- ・卒業・学位授与の状況

学士（理学療法学）	43
学士（作業療法学）	44
学士（看護学）	83
学部合計	170
修士（保健学）	2

- ・国家試験の結果

	実施日	受験者数	合格者数	合格率	全国の合格率
第 58 回理学療法士	R5.2.19	43	43	100.0%	87.4%

第 58 回作業療法士	R5.2.19	44	41	93.2%	83.8%
第 112 回看護師	R5.2.12	83	77	92.8%	90.8%
第 109 回保健師	R5.2.10	32	27	84.4%	93.7%

理学療法学専攻は目標値である 100%を達成できた。次年度以降も今年度の取り組みを振り返り、この結果を維持できるように学生指導を継続する。作業療法学専攻は目標値には至らなかったが、合格率 93%の結果は、少なくとも受験生、保護者から一定の大学評価を得られるものとする。しかしながら今後も常に 100%の合格率を達成できるよう学生支援を行っていく。看護学科は今回の結果を重く受け止め、次年度は模擬試験を活用しながら学生自身が自分の実力を客観視し、自己分析できるよう導くために出来るだけ早い時期（低学年）から、国家試験を意識させるガイダンスや定期的な模擬試験の実施に取り組む。また、成績が伸びてこない学生に対しては個別の支援が必要であるため、学生の模試の結果等の情報を教員間で共有する。

- ・ 国家試験合格者のうち医療機関就職率 100%

2 教育環境の整備

- ・ 校歌の作成について、作曲を三枝成彰先生、作詞を林真理子先生に依頼し、令和 4 年 9 月 22 日に「校歌制定記念式典」を開催して関係者に披露した。校歌完成後は、学内において令和 4 年 10 月から令和 5 年 1 月までの間、毎週水曜日の昼休みに校歌を全館放送し普及を図った。
- ・ 学生への定期健康診断の実施と必要な指導等を行った。指導を通じて、学生相談窓口との連携の必要性を認識したため今後の改善を図る。
- ・ 看護学部の完成年度にあたり、看護学部 4 年時まで必要とされる授業関連図書を計画通りに整備できた。また、医中誌 Web にリモートアクセスを加え、全契約データベースでリモートアクセスを可能とするなど、大学図書館としての基本的な学術情報資源や機能の整備に一応の目途を付けることができた。
- ・ 本館エアコン空調更新 3 年計画の 2 年目として計画どおり実施した。
- ・ 本館のトイレ洗面台の自動化、机・椅子の更新、LED 化について、全て計画どおり実施した。

3 研究の推進

- ・ 科学研究費助成事業、厚生労働行政推進調査事業及び企業との共同研究として、本学教員を研究代表者とする研究 4 件（新規 2 件・継続 2 件）、研究分担者とする研究 3 件（新規 2 件・継続 1 件）が採択され、外部研究費の獲得件数が増加している。学内公募研究費は新規 1 件を採択した。特に若手教員の研究に対する意欲が目立ち、地域保健医療研究センターが申請を支援した。また、論文

数も増加傾向である。

- ・コンプライアンス教育・啓発活動の実施計画に基づき、公的研究費に係る不正防止のための教育・啓発を4回実施し教職員への周知徹底を図るとともに、監事による公的研究費の執行状況確認を年2回行い、運営会議で報告された。
- ・月1回の抄読会を継続実施し、個人の研究状況を他の教職員に開示し、分野の異なる研究者間の情報共有と相互理解を行った。

4 同窓会組織の確立

- ・同窓会との共催による生涯学習講座を以下のとおり開催（オンライン）。

日付	テーマ	参加人数
5月15日	医学英語入門	28人
8月28日	癌縮治療とどう向き合うか～脳卒中各ステージでのかかわり方～	35人
10月9日	①若い人に伝えたい、8年間の作業療法の臨床・研究・教育 ②脊髄損傷者に対する歩行再建	52人
2月5日	小児領域における医療的介入終了後の地域活動について	25人

5 地域との連携強化

【協定締結状況】

長野県長野市

長野県飯山市

長野県議会

川中島町住民自治協議会

長野市立長野高等学校

長野県内11大学（高等教育コンソーシアム信州）

一般社団法人サキベジ推進協議会

- ・連携協定に基づき実施した主な事業（長野市立長野高校関係は別表に記載）

連携先	内 容	日付	場所
長野市	放課後子ども総合プランアドバイザー登録	—	—

長野市	発達障害に関する研修会	5/18	川中島小学校
長野市	スポーツイベントにおける体力・健康チェックキャラバン	6/19、11/7	塩崎体育館等
飯山市	基本チェックリスト報告会	4/27	オンライン
川中島自治協	体力測定会	5/28、10/29	本学

連携先と各種事業等に参画し、地域に根差した活動を通じて地域における大学の認知度を向上させ、地域住民の健康増進と本学の人材育成に貢献する一助となった。

・長野市立長野高校との連携事業

日付	内容	対象者	担当講師
12/13、12/21	市立長野高校出前授業	市立長野高校 3 年	本学教員
2/18、2/25	入学前教育	本学入学予定者	市立長野高校教員、本学教員

高大連携検討委員会を立ち上げ、市立長野高校との連携を強化する取組ができた。今後も双方にとってメリットがあり持続可能な取組となるよう改善を図る。

・各種団体が開催する講習会等に本学教員を講師として派遣（99 件）。

6 財政基盤の強化

- ・外部研究資金として、文部科学省の科学研究費助成事業 5 件、厚生労働行政推進調査事業 1 件及び企業との共同研究 1 件について助成金が交付された。
- ・エアコン空調機の更新に係る先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金が交付された。
- ・寄付金募集にはさらに検討を要するが、令和 5 年 1 月から長野県の「ふるさと信州寄付金」を活用した私立学校応援制度に登録した。

7 情報公開、広報活動の推進

- ・2022 年度のオープンキャンパスは来学型 6 回を実施し、986 人の参加者を得た（前年 1019 人）。また、高校内説明会及び学校見学会等は 152 回実施した（前年 114 回）。
- ・学部の入学生試験結果は別表のとおり。保健科学部は出願者が昨年を下回ったが（第一志望の出願者数で前年比 81%）、定員を超える入学者数を確保できた。看護学部も出願者が昨年を下回り（第一志望の出願者数で前年比 95%）、定員を充足することはできなかったが、入学者数は前年より増加した。令和 4 年度新入生を対象にオープンキャンパスに関するアンケートを実施したところ、在学生による大学アピールは極めて好評であることが確認された。本学のホームページ閲覧数は 7～8 月に増加す

る傾向があるため、この時期のオープンキャンパスで在学生参加企画を展開することが有効だが、学生の試験や実習等が重なる日程的な課題がある。新たに制作した大学紹介動画はホームページ、Youtube など主にインターネットによる広報素材として活用したが、次年度は長野駅前ビジョンでの放映も検討する。入学定員を確保するには受験者数を増やすことが不可欠であり、様々な方策を駆使して医療専門職に意欲ある高校生の本学への進学につなげていく。

- ・大学院は入学定員 8 名に対して 3 名の入学となり前年同数となった。年度途中に設けた新たな奨学金制度により、本学卒業生が入学した場合の授業料は国公立大学院と遜色ない水準になるため、次年度は積極的に広報する。

III 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・本学の活動ガイドラインに基づき、対策本部会議（本年度は 24 回開催）にて対応を決定。
- ・学内の講義、演習については年間を通じて対面授業を中心に開講した。病院施設での実習については、コロナの影響により実施が危ぶまれたが、実習日程の変更、学内実習への切り替えなどで対応し、未開講とすることなく、全ての実習科目を開講することができた。
- ・職域接種（1・2 回目）の実施に引き続き、本学を会場とした新型コロナウイルスワクチンの職域追加接種を実施した。1・2 回目と比較して、行政による接種体制が整備されたことにより、本学会場での希望者は前回の 1/3 以下であった。

実施日	令和 4 年 3 月～7 月の間に 7 回実施
被接種者数	438 人 （内訳） 本学学生 363 人 教職員等関係者 65 人 他の教育機関関係者 10 人 (1・2 回目 1597 人)

保健科学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3志 望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制	計20	11月12日	12	12	12	0	0	1.0	12	6
学校推薦型選抜公募制		11月12日	39	38	10	0	0	3.8	10	5
総合型選抜自己推薦方式		12月10日	24	24	9	0	0	2.7	7	2
一般選抜Ⅰ期	12	2月4日	35	35	12	0	2	2.9	10	3
一般選抜Ⅱ期	4	2月26日	5	3	1	0	0	3.0	1	1
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月15日	募集無し					—		
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月14日	38	38	9	0	0	4.2	1	0
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月15日	1	1	1	0	0	1.0	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月12日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月10日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月4日	0	0	0	0	0	—	0	0
合計	40		154	151	54	0	2	3.4	41	17

作業療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3志 望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制	計20	11月12日	14	14	14	0	0	1.0	14	13
学校推薦型選抜公募制		11月12日	33	33	14	3	0	2.4	14	10
総合型選抜自己推薦方式		12月10日	25	25	7	0	0	3.6	7	3
一般選抜Ⅰ期	12	2月4日	28	28	10	0	0	2.8	8	4
一般選抜Ⅱ期	4	2月26日	3	2	1	0	0	2.0	1	0
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月15日	募集無し					—		
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月14日	27	27	7	0	0	3.9	1	0
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月15日	1	1	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月12日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月10日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月4日	0	0	0	0	0	—	0	0
合計	40		131	130	53	3	0	3.0	45	30

リハビリテーション学科合計			285	281	107	3	2	3.2	86	47
---------------	--	--	-----	-----	-----	---	---	-----	----	----

看護学部看護学科：入学定員80名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3志 望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
総合型選抜A0方式	8	9月26日	13	13	12	0	0	1.1	12	10
学校推薦型選抜指定校制	計32	11月12日	24	24	24	0	0	1.0	24	22
学校推薦型選抜公募制		11月12日	20	20	13	0	0	1.5	13	10
総合型選抜自己推薦方式		12月10日	16	15	13	0	0	1.2	10	9
一般選抜Ⅰ期	24	2月4日	41	41	32	0	0	1.3	14	14
一般選抜Ⅱ期	8	2月26日	6	5	3	0	0	1.7	2	0
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月15日	0	0	0	0	0	—	0	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	8	1月14日	57	57	48	0	0	1.2	4	4
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月15日	1	1	1	0	0	1.0	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月12日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月10日	0	0	0	0	0	—	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月4日	0	0	0	0	0	—	0	0
合計	80		178	176	146	0	0	1.3	79	69

保健科学部・看護学部総合計			463	457	253	3	2	2.0	165	116
---------------	--	--	-----	-----	-----	---	---	-----	-----	-----

※出願者・受験者には第2・3志望者も含む ※倍率は指定校推薦を除く